

2019年4月8日

日揮株式会社

2019年3月期通期業績予想および配当予想の修正
テレフォンカンファレンスにおける質疑応答（2019年4月8日開催）

※テレフォンカンファレンス開催日（2019年4月8日）時点の情報に基づく内容です。

質問	回答
通期業績予想修正の理由として「一部海外案件の早期完工等」との記載があるが、これはヤマル LNG 建設プロジェクトとの理解で良いか？同プロジェクトは、2019年3月期末までに全ての売上・利益が計上されるのか？	ヤマル LNG 建設プロジェクトである。同プロジェクト早期完工により、売上・利益を2019年3月期に全て計上することになった。 これにより、国外所得が増加し、外国税額控除額の適用による二重課税の排除により実効税率が低下する見込みとなったため、今回、親会社株主に帰属する当期純利益の予想値の修正に至った。
ヤマル LNG 建設プロジェクトは、コンティエンジェンシーの利益化を含め2019年3月期に最終売上になるとの理解で良いか。	ご理解の通りである。
今回、営業利益及び経常利益を変更せずに、親会社株式に帰属する当期純利益だけを修正した理由は何か？	ヤマル LNG 建設プロジェクトの2019年3月期中の最終売上が確定したことで、外国税額控除により税額が大幅に変わる見込みとなったため、適時性の観点から当期純利益だけの修正発表を行った。
今回の修正発表では、営業利益及び経常利益が変更されていないが、現時点で未だ見通しがついていないからなのか、それともヤマル LNG 建設プロジェクトからの利益を相殺するような案件があるということなのか？	営業利益及び経常利益については、現在、2019年3月期決算の取り纏め作業中であり、今回の発表では予想を据え置いている。ただし、第3四半期までの決算実績や、その後の進捗等の情報を総合的に勘案する限り、営業利益及び経常利益が大幅に上振れするような感触は現時点では持っていない。
2020年3月期の実効税率は、通常レベル（30%前後）に落ち着	2020年3月期の業績予想は今後取りまとめていくことになるため、現

いていくと考える良いか？

時点で確定的なことは申し上げられないが、外国税額控除の枠は引き続き減少傾向にあり、楽観的な見方はしていない。今回修正した2019年3月期よりは上昇する可能性はあるのではないかと見ている。